

8月24日は薬害根絶の日 今年は8月23日(金)実施

薬害根絶は 私たち医療人の願いです

1999年8月24日、厚生省は薬害エイズ事件を反省し、再発防止を決定する「根絶の碑」を庁舎正面に建立しました。

翌年からこの日を「薬害根絶デー」とし、薬害被害者の団体・薬被連が国と交渉をおこなっています。私たちはも、この行動に合わせて薬害防止を訴えています。



薬害イレッサの教訓



肺がん治療薬イレッサは、わずか5カ月の審査で2002年7月に承認され、発売後半年で180名、現在まで800名をこえる死者が出ました。

臨床試験での死亡例を伏せ「副作用の少ない夢の新薬」と宣伝されていたことが原因です。

最高裁では敗訴しましたが、臨床医に危険性が伝わらなかった「医薬品添付文書」の改善が必要です。

十分な情報無しで販売開始する抗がん剤の、副作用被害を救済する制度を作りましょう。

第三者監視組織をつくらう

薬害肝炎訴訟の原告団・弁護団と厚生労働省が結んだ「基本合意」にもとづき、「薬害肝炎検証再発防止委員会」が、2010年4月、「最終提言」をまとめました。

この中で、薬事行政を監視・評価し、薬害を防止する常設の「第三者監視・評価組織」を提案しています。

薬害の連鎖を断つため、いまだに実現されていない、第三者監視組織の実現を国に働きかけていきます。



詳しくは、”薬害根絶デー”で 検索